

## 「黒神小学校の文化財探訪の取組」

### 1 学校名

鹿児島市立黒神小学校

### 2 学年・人数

3・5・6年生（計4人）

### 3 日時・活動場所

- (1) 日時 令和3年5月8日（土）、令和3年11月4日（木）
- (2) 活動場所 噴火により埋没した門柱、噴火により埋没した鳥居

### 4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

- (1) 名称・時代
  - ・噴火により埋没した鳥居（ふんかによりまいぼつしたとりい）大正3年
  - ・噴火により埋没した門柱（ふんかによりまいぼつしたもんちゅう）大正3年
- (2) 特徴

黒神小・中学校校区にある、「噴火により埋没した鳥居」、「噴火により埋没した門柱」は共に1914（大正3）年1月の桜島の大噴火に伴って埋没した腹五社神社の鳥居と永野氏宅の門柱である。「埋没鳥居」は、国内はもとより国外からの観光客が多い。今年度は、昨年度休校していた黒神中学校が再開したので、黒神小学校の児童職員及び黒神中学校生徒職員とで清掃活動を行った。また、「噴火により埋没した門柱」周辺についても環境整備や清掃を行った。

### 5 保存会や地域との連携の具体

黒神地区には、「噴火により埋没した門柱」や「噴火により埋没した鳥居」の文化財がある。地域の奉仕作業で、地域住民と一緒に、この二つの文化財の清掃活動を行った。

また、本校は昭和の大噴火の時に流出した溶岩によって埋まってしまったという経緯があり、その時の溶岩の上に松が自生している。地域の方々に、昭和の噴火について聞き取りをして、桜島の噴火についてその特色を児童、職員一緒になって考えた。

### 6 活用の取組の工夫した点

黒神の歴史について、文化財と関連付けながら、パワーポイントを用いて全校朝会の校長講話の中で取り上げた。

<全校朝会時の講話の内容より>

- ・黒神にはどんな文化財があるか・文化財とはどんなものか・黒神と世界遺産
- ・桜島の文化財（江戸時代編）・地名からわかること・黒神の杜（もり）について

## 7 取組の様子



埋没門柱の見学



全校朝会での校長講話



埋没鳥居の清掃



埋没鳥居の清掃

## 8 参加児童・地域・教職員等の感想・意見

### 【児童】

- ・ 今から 105 年前の桜島大噴火はすごかったことがわかった。
- ・ 黒神小学校の周りある森と、黒神中学校の周りにある森は、木の種類がちがうことが初めて気づいた。
- ・ 「昇平丸」の話を聞いて、昇平丸が黒神の隣村（瀬戸村）でつくられたことで、日の丸と黒神とが関係があることがわかった。

### 【教員】

- ・ 郷土に残る文化財を通して、郷土の先人たちが、度重なる桜島の噴火を乗り越えて、たくましく生活してきたという事実を再確認することができた。

### 【地域の方から】

- ・ 子どもたちが地域に伝わる文化財に触れ大事にすることは、地域にとってすごく元気がでる。今後も大切に守っていく気持ちをもっていただきたい。
- ・ 郷土に誇りをもって生活してほしい。